

言語活動を取り入れた単元づくりのポイント

◆ルール3カ条◆

- ・指導事項を、言語活動を通して指導します。
- ・教材を指導するのではなく、教材で指導をします。
- ・児童の実態や指導事項、教材に適した言語活動を取り入れます。

単元づくりの考え方

1 前単元までの学習の系統性を調べましょう。

- ・教科書の単元配列を見てみましょう。
- ・前単元までの学習内容を確認します。



2 その単元で取り上げる指導事項を確認しましょう。

- ・その単元では、何を重点的に指導するのかを教科書等で確かめておきましょう。



3 取り入れる言語活動を選びましょう。

- ・「この指導事項を指導するためには、この言語活動がふさわしい」という考え方を忘れないようにします。
- ・言語活動の教材研究をしておくことが大切です。
- ・単元計画のどこに位置付けるかをイメージしておきましょう。



4 単元計画を立てましょう。

- ・指導事項を身に付けさせることができるような単元の目標と評価規準を作成します。
- ・単元計画を立てて、授業に臨みましょう！

ポイント（留意点）

- ・前の単元は何を指導したか。
- ・同じ領域（話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと）の前の単元ではどんなことを学んだか。
- ・前の学年の同系統の内容は何か。

- ・領域は何か。（話すこと・聞くこと、書くこと、読むことの中のどれ？）
- ・指導することは何か。
（教科書の教材名の横にあります。）

- ・子どもたちの経験（したことがない言語活動を、手立てをとらずにさせると、子どもたちは戸惑います。）
- ・教材文だけを教材研究するのではなく、言語活動の機能や特徴を調べておきましょう。
- ・この言語活動を3次で行うために、2次では会話や行動をしっかりと読み取らせる！というようなイメージをもっておきましょう。

- ・1単元では1領域の評価を行います。
- ・言語活動を取り入れた単元計画を立てましょう。